

「鳴門・淡路島」満喫の旅
— 会員交流バス旅行を開催 —

6月19日・20日、会員交流バス旅行を開催し、両日合わせて計88名の参加者が鳴門・淡路島への日帰り旅行を楽しみました。

数日前に梅雨入りが発表され、天候が心配される中、2日間とも午前中は曇り、午後からは日差しが差し込み絶好の行楽日和となりました。

最初の目的地、大鳴門橋では、渦の道ウォークで潮風を感じながら450mの海上散歩を楽しみ、次の会員制ホテル「エクシブ淡路島」では特別日本料理のランチコースを堪能しました。午後は、日本最古の宮「伊弉諾神宮」を参拝、最後にパルシエ香りの館でハーバリウム作りを体験しました。色とりどりのビーズやドライフラワーが用意されており、思い思いのアレンジを楽しみました。



自作のハーバリウムは愛着たっぷり

団 体 だ よ り

女性会

これがわたしの会社です

— 事業所紹介を開催 —

6月20日、女性会定例事業の一つである、事業所紹介「これが私の会社です」を開催しました。今回は3名の会員の方にお話をして頂きました。

一人目は「Sarasu v a t i・Kyoka」の肥塚恭子氏です。アロマオイルのライセンスを取得し、古来インドに伝わるハーブアロマオイルでチャクラから流して脳の疲労や、ストレスを解消し、体質改善を図り本来自分が持っている健康な状態へ導く施術をされています。穏やかな心と健康的な身体を手に入れるため勉強の日々ですと発表がありました。

二人目は「イタリアサローネ」の繁田モンディーニ陽子氏です。イタリアで20年間過ごし、日本に帰国して以来、イタリア語とイタリア文化講座、通訳業としてイタリアの食文化を代表するオリーブオイルソムリエとして活躍されています。オリーブオイルは各地方

によって味の違いがあることや、お料理の話まで聞くことができ、まるでイタリアを旅しているような雰囲気になりました。

三人目は「ちばな呉服店」の立花早苗氏です。着物をお召しになり発表していただきました。加古川の老舗の呉服店で、着物販売の他、着付けサービスや教室、着物のTPOのお話・お困りごとの相談も随時受け付けており、好評いただいているとの話がありました。関西では家紋は女紋を受け継ぐとの話も大変興味深いものでした。

質問なども活発に飛び交い有意義で楽しい時間となりました。次はあなたの事業所かも・・・。メンバーの皆さまの多数の参加もどうぞよろしくお願いたします。



メンバーの事業に興味深々

(副会長 善積 美代子)

加古川異業種交流会

淡路島で躍進パソナグループ

— 国内視察研修を開催 —

6月21日、パソナグループが手掛けた淡路島の施設を訪問しました。コロナ禍で影響を受けた飲食店や若手シェフの新たなチャレンジを応援する「淡路シェフガーデン」、仕事と休暇を組み合わせた柔軟な働き方を推進する「パソナワーケーションハブ」、廃校になった小学校を地域活性の情報発信基地として再生活用した「のじまスコラ」等をパソナの担当者から説明を受けながら見学しました。また、昼食は宿泊施設を備えた滞在型レストラン「オーベルジュフレンチの森」で素晴らしい料理に舌鼓を打ちました。

古いものを上手く活用しコストを抑えつつまちの再活性化を図る取り組みは、我々の加古川市でも大いに生かされる学びの多い一日でした。



参加メンバーで集合写真

(株)シヨーコーポレーション 柳川 詔二